

■概要と趣旨

- 徐々に対面型のコミュニケーション・営業が復活している状況、またコロナ期を経てハイブリッド・スタイルが進化している状況を受け、
- とくにこの1年の「雪解けの水は美味しい」「久しぶりに会うあの人はいい人」「今年の出会いは値千金」という感覚と効果、時の利をおおいに味方にしてください、しましょう、という趣旨から、
- またオンラインの出展を強化・補強するものとして、
- 会期中の2回、100～200名が一時的に入場できる出入り自由の空間イベントを開催します。
- ご自分の施設・社屋等を、訪問歓迎、イベント開催の〈会場〉として登録、全国にPRするサテライト会場とあわせて、今年度の発表、コミュニケーションにご利用くださいませ。

■会場と開催日

◆カンファレンス in 機械振興会館

1. 会期:11月5日(土)10:00-18:00
2. 会場:機械振興会館(東京都港区芝公園 3-5-8 一般財団法人機械振興協会)
<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/index.html>
3. 地域フォーラム来場数から推定して 250-300名+上乗せ を想定しています。
4. 内容: BIC ライブラリ(専門図書館/出展者)企画との併催、運営委主催企画は「館種間の交流・情報交換を促すもの(講演 or 会議)」を予定。ほかポスターやパネルなど展示受入れ。

◆カンファレンス in 鳥取

1. 会期:11月26日(土)10:00-18:00
(ア)11月27日-28日開催の都道府県立図書館サミットと併催
2. 会場:鳥取県民ふれあい会館(講演&コミュニティ)ほか鳥取県内(見学会等)(鳥取市扇町 21 番地)
<http://fureaikaikan.jp/>
3. 地域フォーラム来場数から推定して 150-200名+上乗せ を想定しています。
4. 内容:都道府県立図書館サミットとの併催。各館種からの参加者がより横断的に交流できるよう、講演・ディスカッション・展示のプログラムも相互に乗り入れ、“各館種に関心をもてるよう”工夫したのになります。会場の鳥取県はそのコンパクトさと機動性から図書館が他の行政諸部局や企業等と上手に連携していることでも知られ、その事情を伺いに行く会でもあります。
都道府県立図書館サミット <https://current.ndl.go.jp/e2199>
運営委主催企画は「学校図書館とギガスクール」「本と読書とDX」などを検討(8月に決定)

■運用

1. 各回の開催可否は、政府行政の方針・社会情勢に従うものとし、会場の感染防止対策についてもそれに従って運用します。
2. コロナ感染拡大等の状況に伴って、主催者判断で現地開催の中止とする場合があります。その場合、オンライン形式へ変更して実施します。この場合の出展(後述)には費用が発生しません。
3. 現地開催の実施を開催1カ月前に決定します。開催決定後に出席団体側からの申出で出展キャンセルされる場合、出展料の50%のキャンセル料が発生します。

■開催内容

従来のカンファレンス形式＝「講演と分科会を中心におき、幕間にそこから流れる観客を長机で拾う」よりは「参加者間の情報交換・歓談に重きがおかれるよう、会場レイアウト、講演時間配分もそちらを重点に構成」します。

参加受付は、講演部分ではなく来場部分で行い、また同時入場者数(会場密度)は調整しつつ、総数としては制限をかけません。

〈開催種目〉

1. 講演およびディスカッション(回により分科会を設ける)
2. (講演時間内)協賛団体等プレゼンテーション×各5分
3. 出展者長机ブース
4. 商談&対話ゾーン
5. 各企画展示ゾーン
6. (レセプション)
7. 周辺施設見学ツアー

■出展プログラム 1

◆会場出展(各回 10 団体程度)

〈内容〉

- ・長机ブース:講演会場わきフォワイエ/電源・wifi
- ・商談・対話ゾーン(テーブル+イス)に専用ゾーン(テーブル&椅子用意)
- ・講演会内プレゼンテーション 5min.
- ・開催案内冊子への掲載、当日プログラムへの掲載
- ・各サテライト会場へのチラシ一括送付
- ・レセプション 2 名まで参加)

〈料金〉

- ・東京回:220,000 円(税込)
- ・鳥取回:330,000 円(税込)
- ・双方協賛:440,000 円(税込)

◆置き資料

- ・カンファレンス 2 会場とサテライト(受入る全会場)へ A4 判(袋詰め可)のちらしを全置き〈〉

〈料金〉

:110,000 円(税込)